

T O Y O K N I F E C O . , L T D .



東洋刃物株式會社

**2016年3月期 決算説明会**

**2016年6月8日**

# 目次

1. 2016年3月期 業績概要	.....	2
2. 中期経営計画	.....	10
3. 2017年3月期 業績予想	.....	16
4. 株主還元に対する基本方針	.....	20
5. ご参考 当社について	.....	22

## 2016年3月期 業績概要

# 2016年3月期 決算概要

単位：百万円

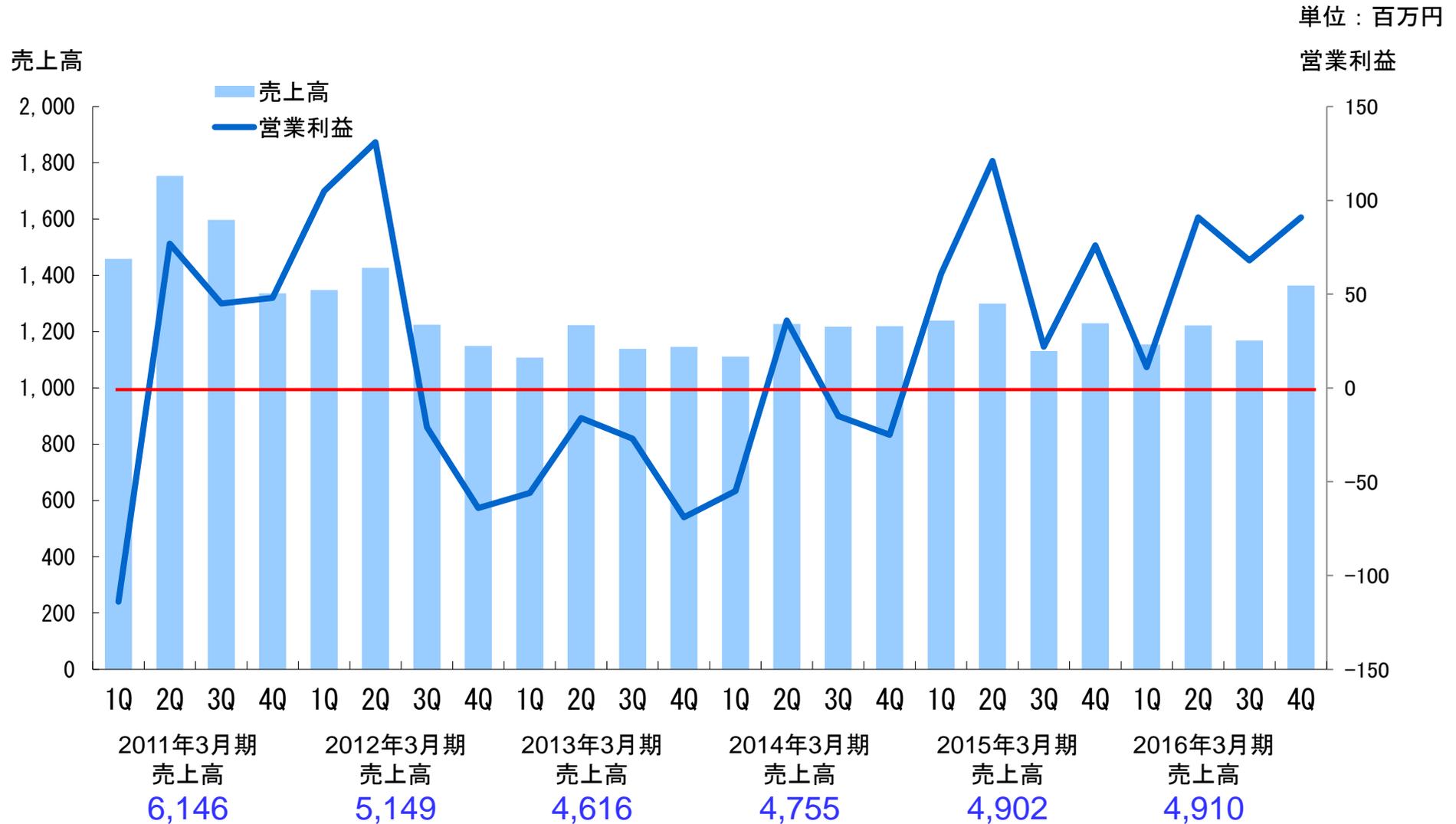
	2015年3月期		2016年3月期				業績予想 (2015.10.29修正)			
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率	金額	構成比	増減額	増減率
売上高	4,902	100.0%	4,910	100.0%	8	0.2%	4,990	100.0%	△80	△1.6%
売上総利益	1,265	25.8%	1,288	26.3%	23	1.9%	—	—	—	—
販売費及び一般管理費	983	20.1%	1,026	20.9%	43	4.4%	—	—	—	—
営業利益	282	5.8%	262	5.3%	△19	△7.0%	200	4.0%	62	31.0%
経常利益	241	4.9%	184	3.8%	△56	△23.4%	165	3.3%	19	11.5%
税金等調整前当期純利益	241	4.9%	183	3.7%	△57	△24.0%	—	—	—	—
親会社株主に帰属する 当期純利益	186	3.8%	139	2.9%	△46	△25.0%	135	2.7%	4	3.0%
一株当たり当期純利益(円)	186.91		137.97				135.30			

- ✓ 機械部品関連の減少やその他に分類される異型刃物類を中心とした品種の低迷はあったものの、主力の情報産業用刃物、製紙パルプ用刃物が堅調に推移し、売上高は0.2%増の4,910百万円。
- ✓ 品種構成の変化により売上総利益率が増加した一方、人件費増等により、営業利益は262百万円。
- ✓ 第三者割当増資等に係る費用計上により、経常利益は184百万円。

\* 2015年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施いたしましたが、前連結会計年度の期首に当該株式併合を実施したと仮定し、1株当たり当期純利益を算定しております。

\* 2016年5月13日発表の「平成28年3月期決算短信」におきまして、「継続企業の前提に関する注記」の記載を解消することとしました。

# 四半期業績の推移



# 2016年3月期 用途別売上高及びセグメント利益

単位：百万円

	2015年3月期			2016年3月期						
	売上高		セグメント利益	売上高				セグメント利益		
	金額	構成比	金額	金額	構成比	増減額	増減率	金額	増減額	増減率
機械刃物及び機械・部品	4,464	91.1%	510	4,461	90.9%	△3	△0.1%	525	14	2.9%
情報産業用	1,180	24.1%		1,257	25.6%	76	6.5%			
鉄鋼用	734	15.0%		772	15.7%	37	5.1%			
製紙パルプ用	504	10.3%		550	11.2%	45	9.1%			
合板用	243	5.0%		250	5.1%	6	2.7%			
製本用	55	1.1%		38	0.8%	△16	△29.8%			
産業用機械・部品	951	19.4%		929	18.9%	△22	△2.4%			
その他	797	16.3%		665	13.6%	△131	△16.5%			
緑化造園	437	8.9%	21	448	9.1%	11	2.7%	28	7	34.0%
合計	4,902	100.0%	532	4,910	100.0%	8	0.2%	554	22	4.2%

## ✓機械刃物及び機械・部品

【売上高】・主力の情報産業用は、液晶関連部品や機能性フィルム製造工程で使用される刃物類の拡販への営業活動も奏功し、6.5%増。

・製紙パルプ用は、ネット販売、農産物配送に用いられる段ボール用刃物等の堅調な需要を取り込み、9.1%増。

【セグメント利益】重点施策製品群の売上増により、2.9%増。

## ✓緑化造園

【売上高】管理業務に加え、造園工事の大口案件も増加し、2.7%増。

【セグメント利益】工期改善の取り組み効果もあり、34.0%増。

# 2016年3月期 地域別売上高

単位：百万円

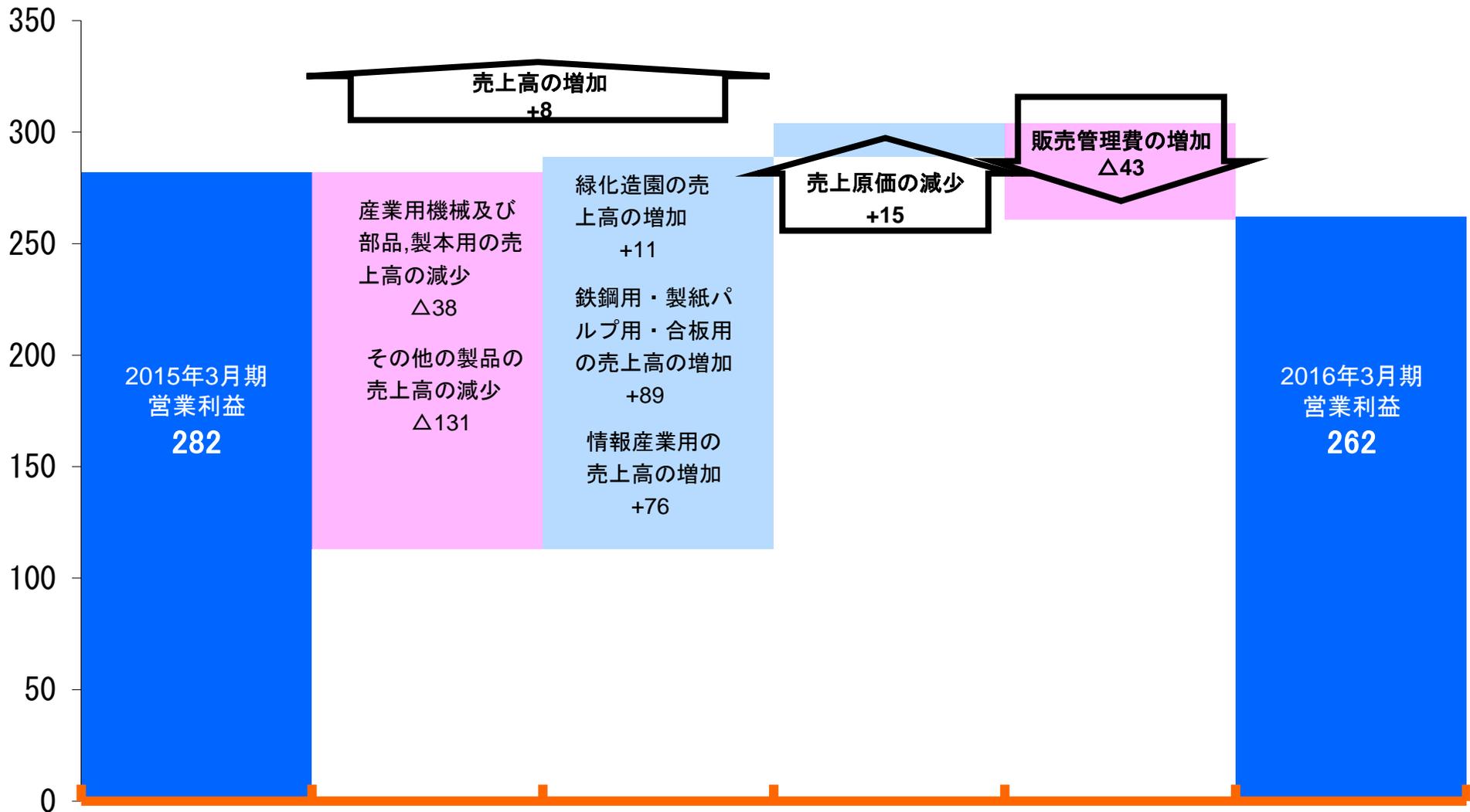
	2015年3月期		2016年3月期			
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
日本	4,268	87.1%	4,395	89.5%	126	3.0%
除く緑化造園	3,831	78.2%	3,946	80.4%	114	3.0%
海外	633	12.9%	514	10.5%	△118	△18.7%
中国	285	5.8%	198	4.0%	△87	△30.5%
東南アジア	285	5.8%	265	5.4%	△19	△6.9%
その他	62	1.3%	50	1.0%	△11	△18.9%
合計	4,902	100%	4,910	100%	8	0.2%

【日本】 機械部品関連の減少やその他に分類される異型刃物類を中心とした品種の低迷はあったものの、主力の情報産業用刃物、製紙パルプ用刃物が堅調に推移し、売上が増加。

【海外】 中国経済の減速が大きく影響し、中国現地販売子会社での売上が低迷。

# 2016年3月期 営業利益（増減要因）分析

単位：百万円



# 2016年3月期 貸借対照表

単位：百万円

	2015年3月期末		2016年3月末				主な要因
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率	
<b>資産の部</b>							
流動資産合計	3,601	63.7%	4,272	69.7%	670	18.6%	
現金及び預金	1,188	21.0%	1,783	29.1%	594	50.0%	新株、転換社債の発行
受取手形及び売掛金	1,206	21.3%	1,320	21.5%	113	9.4%	売上の増加
電子記録債権	278	4.9%	295	4.8%	16	6.0%	
棚卸資産	898	15.9%	837	13.7%	△60	△6.8%	
固定資産合計	2,056	36.3%	1,859	30.3%	△197	△9.6%	
有形固定資産	1,473	26.0%	1,359	22.2%	△113	△7.7%	減価償却による減少
投資有価証券	477	8.4%	397	6.5%	△80	△16.8%	
資産合計	5,658	100.0%	6,132	100.0%	473	8.4%	
<b>負債の部</b>							
流動負債合計	3,699	65.4%	3,681	60.0%	△18	△0.5%	
支払手形及び買掛金	562	9.9%	628	10.2%	65	11.7%	売上の増加
短期借入金（一年以内返済の 長期借入・社債含む）	2,771	49.0%	2,687	43.8%	△84	△3.0%	借入金の返済
固定負債合計	1,100	19.4%	1,200	19.6%	100	9.1%	
転換社債型新株予約権付社債	—	—	200	3.3%	200	—	
長期借入金	185	3.3%	16	0.3%	△169	△91.3%	借入金の返済
負債合計	4,800	84.8%	4,882	79.6%	82	1.7%	
<b>純資産の部</b>							
資本金	500	8.8%	700	11.4%	200	40.0%	新株の発行
資本・利益剰余金	286	5.1%	626	10.2%	339	218.7%	新株の発行
その他の包括利益累計額	70	1.2%	△78	△1.3%	△148	△212.0%	有価証券評価額減
非支配株主持分	1	0.0%	2	0.0%	0	10.9%	
純資産合計	858	15.2%	1,249	20.3%	391	45.6%	
負債及び純資産合計	5,658	100.0%	6,132	100.0%	473	8.4%	

# 2016年3月期 キャッシュフロー（CF）計算書

単位：百万円

	2015年3月期		2016年3月期	
	金額	金額	増減額	増減率
営業活動によるCF	509	316	△193	△37.9%
投資活動によるCF	△82	△46	35	—
（フリーCF）	427	269	△157	△36.8%
財務活動によるCF	△192	332	524	—
現金及び現金同等物の増減額	251	592	341	136.0%
現金及び現金同等物の期首残高	778	1,030	251	32.3%
現金・現金同等物の期末残高	1,030	1,622	592	57.5%

単位：百万円

	2015年3月期		2016年3月期	
	上期	下期	上期	下期
	金額	金額	金額	金額
設備投資	27	41	21	30
減価償却費	73	127	81	83
研究開発費	11	13	20	24

# 中期経営計画

# 中期経営計画の概要

## 経営ビジョン

- ・ 既存の工業用機械刃物分野において、より高品質・高付加価値の刃物製造を目指す一方で、刃物製造技術を応用した非工業用機械刃物分野である超精密部品の加工においても他に抜きん出たメーカーとしての地位を確立し、引き続き超精密部品分野の構成比率を高めることを目標とする。

今中期経営計画の位置づけ： 経営ビジョン達成に向けた体制づくり

## 数値目標

連結	2016年3月期	2019年3月期 (計画最終年度)
売上高	4,910百万円	5,340百万円
営業利益 (率)	262百万円 (5.3%)	320百万円 (6.0%)
経常利益 (率)	184百万円 (3.8%)	270百万円 (5.1%)
親会社株主に帰属する当期純利益 (率)	139百万円 (2.9%)	200百万円 (3.7%)
自己資本比率	20.3%	25.0%以上

## 中期経営計画達成に向けて

- (1) 事業ポートフォリオの再構築  
販売及び仕入の強化
- (2) 短納期・少量多品種を強みとする生産体制の構築
- (3) 資本政策と財務基盤の強化

## 東洋刃物改革委員会

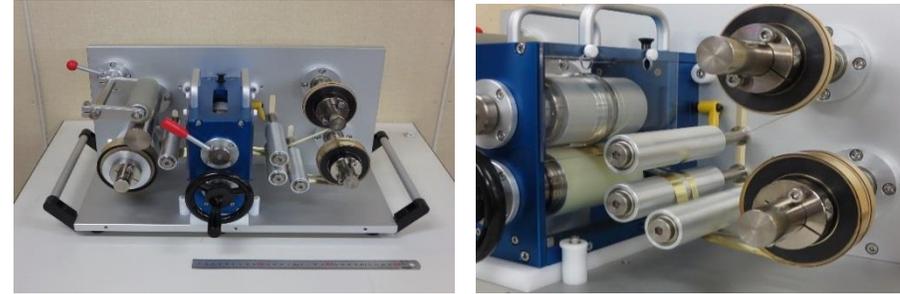


2016年5月 “キックオフ”

# (1) 事業ポートフォリオの再構築 — 重点施策製品群に注力 —

## ☆情報産業用

- ・ 企業・大学の研究開発部門に対し簡易スリッターユニットを進化させた卓上スリッター装置を新たに開発。  
顧客での研究・開発段階から当社製品の浸透を図り、顧客の製造現場への提案営業も展開し、関連する刃物へのシナジー効果を追求する。



【卓上スリッター装置】

## ☆産業用機械・部品

- ・ 設備投資増を見込み、四工法（浸炭・ロウ付・全鋼・鍛接）の特性を活かす提案営業を展開し、工作機械摺動面の継続拡販を図る。



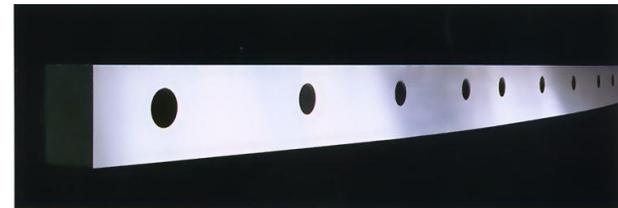
【工作機械摺動面】

## ☆鉄鋼用

- ・ 耐摩耗性・靱性に優れた新材質使用の刃物を開発、今期テスト予定。今後の拡販を図る。

## ☆仕入

- ・ 木材関連用刃物・鉄鋼関連用刃物を想定し、海外を含む仕入製品の調達先、販売先の拡大を目指す。



【鉄鋼用刃物】

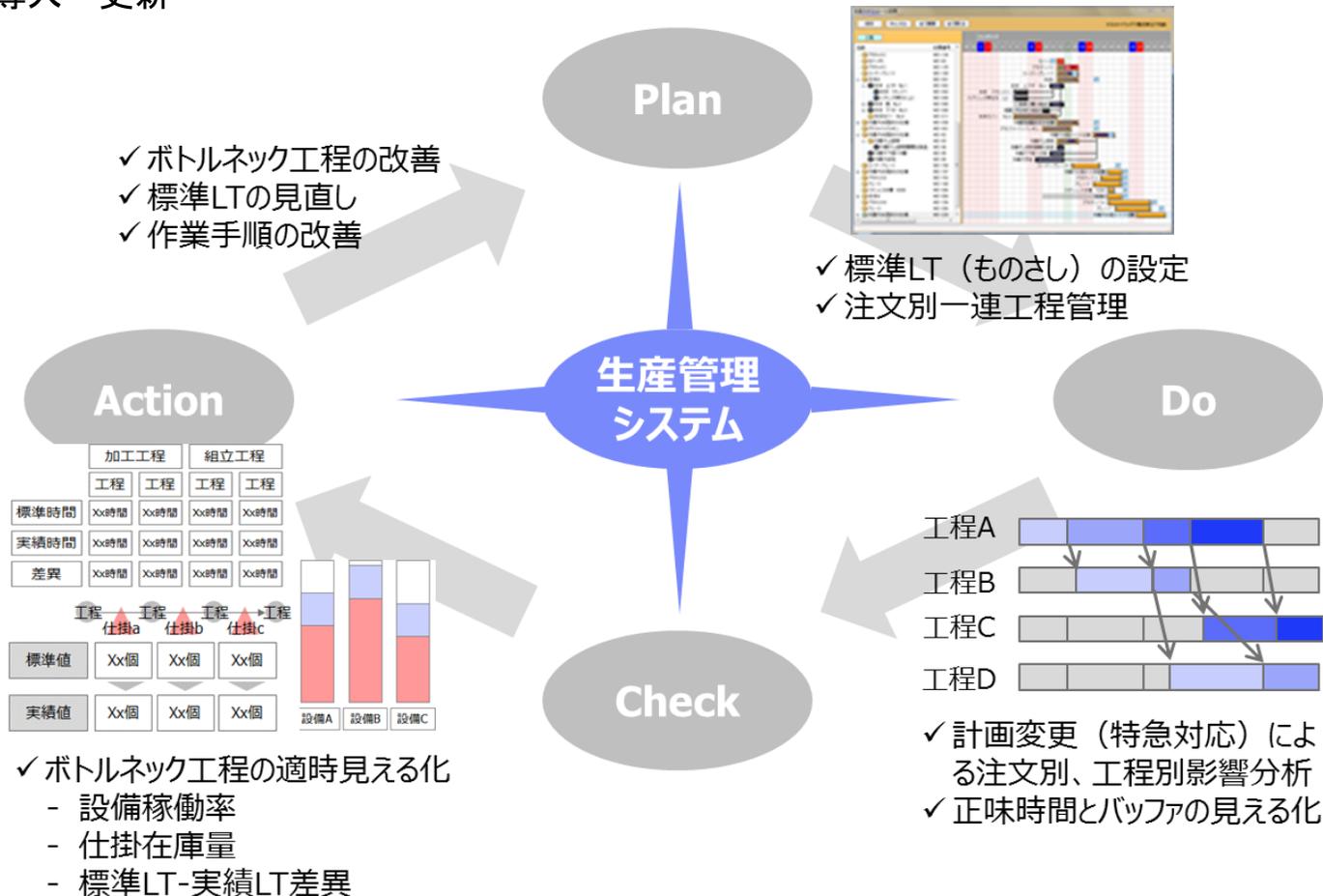
## (2) 短納期・少量多品種を強みとする生産体制の構築

製造リードタイム(納期)の短縮  
(短納期・少量多品種の生産体制の構築)

新規設備の導入・更新

設備稼働率の向上、  
コスト競争力の強化、  
生産能力の拡大

受注機会・売上の拡大



## (3) 資本政策と財務基盤の強化

### 第三者割当増資

財務内容の健全化及び早期の分配可能額の計上を図ることを目的として、新株式の発行に伴い増加する資本金の額及び資本準備金の額の増加分につき、資本金の額及び資本準備金の額をそれぞれ減少し、「その他資本剰余金」へ振り替えます。

なお、当社は、平成28年6月29日開催予定の当社第139期定時株主総会に「資本金及び資本準備金の額の減少の件」を付議します。

#### 当社株式の時価総額について

当社株式は、平成28年4月において時価総額が10億円以上(月末時価総額・月間平均時価総額)となり、東京証券取引所有価証券上場規定第601条第1項第4号a本文(東京証券取引所の定める株式上場廃止基準)に該当しないこととなりました。

## 2017年3月期 業績予想

# 2017年3月期 業績予想

単位：百万円

	2016年3月期		2017年3月期（予想）			
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
売上高	4,910	100.0%	5,020	100.0%	110	2.2%
営業利益	262	5.3%	210	4.2%	△52	△19.8%
経常利益	184	3.7%	120	2.4%	△64	△34.8%
親会社株主に帰属する 当期純利益	139	2.8%	100	2.0%	△39	△28.1%
1株当たり当期純利益（円）	139.97		95.61			

- ✓ 主力の情報産業用の提案営業の推進、製紙パルプ用、産業用機械の好調な需要を見込み、増収計画。
- ✓ 高付加価値製品の拡販、業務改善活動をさらに推進する一方、従業員の志気向上を図ることや設備投資増強に伴い、人件費・減価償却費等固定費の増加を勘案し減益の見込み。

# 2017年3月期 用途別売上高予想

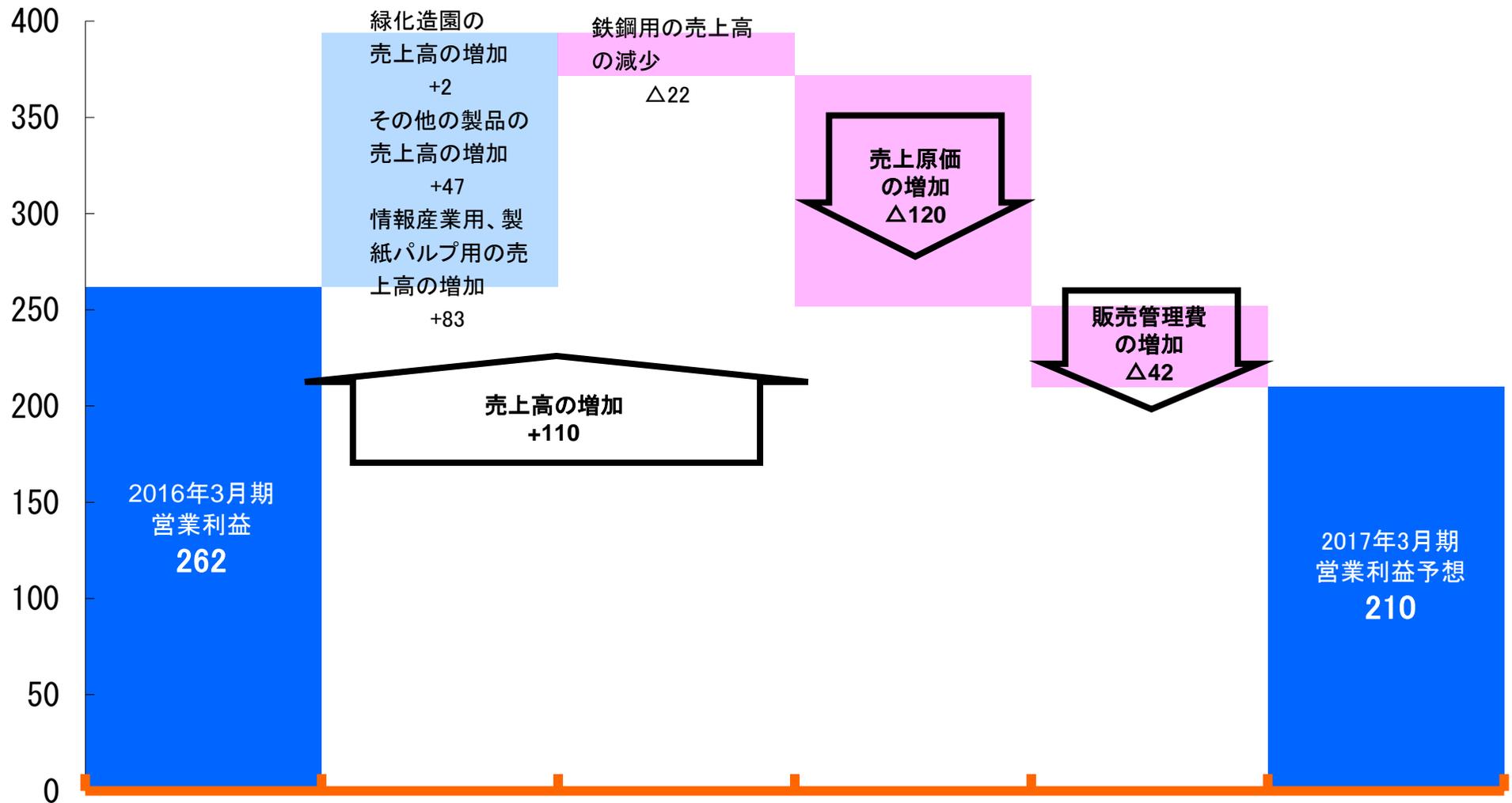
単位:百万円

	2016年3月期		2017年3月期 (予想)			
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
機械刃物及び機械・部品	4,461	90.9%	4,570	91.0%	108	2.4%
情報産業用	1,257	25.6%	1,300	25.9%	43	3.4%
鉄鋼用	772	15.7%	750	14.9%	△22	△2.8%
製紙パルプ用	550	11.2%	590	11.8%	40	7.3%
合板用	250	5.1%	260	5.2%	10	4.0%
製本用	38	0.8%	40	0.8%	2	5.3%
産業用機械・部品	929	18.9%	940	18.7%	11	1.2%
その他	665	13.6%	690	13.7%	24	3.6%
緑化造園	448	9.1%	450	9.0%	2	0.4%
合計	4,910	100.0%	5,020	100%	110	2.2%

- ✓主力の情報産業用の差別化製品の需要増への対応と提案営業を推進する他、製紙パルプ用の堅調な需要を取込む。
- ✓鉄鋼用は高精度品の需要増に期待はあるものの、今期は生産・在庫調整が継続すると見込まれる。
- ✓緑化造園は、採算性を念頭に造園工事及び管理業務への重点指向を継続し、工期のさらなる短縮にも取り組む。

# 2017年3月期 営業利益予想（増減要因）分析

単位：百万円



## 株主還元に対する基本方針

# 株主還元に対する基本方針

## 基本方針

将来に向けた事業展開のため財務体質と経営基盤の強化を図り株主資本の充実に努めるとともに、収益動向などを総合的に勘案し業績に相応した配当を実施することを利益配分の基本に考えております。

## 当期及び次期配当

当期の配当につきましては、依然として厳しい経営環境などを考慮いたしまして、誠に遺憾ながら無配とさせていただく予定であります。  
次期の配当につきましても、現時点での業績予想は厳しい見通しであることから見送りとさせていただく予定であります。

**ご参考 当社について**

## 会社概要

設 立	1925年8月9日
本社所在地	宮城県黒川郡富谷町富谷字日渡34番地11
代 表 者	代表取締役社長 高橋 允
事 業 内 容	情報産業用刃物、鉄鋼用刃物、製紙パルプ用刃物、製本用刃物、合板用刃物、 その他の工業用機械刃物、産業用機械・部品の製造・販売及び緑化造園
主要取引先	新日鐵住金、JFEスチール、日立化成、日東電工、東レエンジニアリング、THK、三井精機工業
従 業 員	244人(正規従業員)
上場取引所	東京証券取引所(第二部)
発行済み株式数	1,577千株
主 な 株 主	地域中核企業活性化投資事業有限責任組合、七十七銀行、常陽銀行、自社従業員持株会、 みずほ信託銀行、仙台ビルディング、松井証券、大同特殊鋼、仙台放送、日本高周波鋼業

2016年3月末現在

# 沿革

年 月	概 要
1925年8月	各種工業用刃物の国内生産を目的として、東京市麴町で設立（資本金30万円）。
1925年9月	仙台工場落成。
1937年5月	大阪に第二東洋刃物設立後、10月に吸収合併、大阪工場として稼働開始。
1947年7月	本社を仙台市米ヶ袋に移転。
1960年10月	多賀城工場（宮城県多賀城市）を新設。
1961年11月	東京証券取引所 市場第二部上場。
1961年11月	株式会社トオハ設立。
1967年11月	熱研工業株式会社設立。
1970年8月	富谷工場（宮城県黒川郡富谷町）を新設。
1973年7月	東洋緑化株式会社設立。
1976年12月	合併にて韓国に東洋鋼業株式会社を設立。
1977年9月	大阪・多賀城・富谷各工場の充実のため、仙台工場を売却。
1977年9月	本社を仙台市港四丁目に移転。
1978年3月	資本金を5億円に増資。
1997年4月	富谷工場を増設。
2004年1月	中国現地法人 上海東優刃物国際貿易有限公司設立。
2011年7月	東日本大震災により被災したため、本社を宮城県黒川郡富谷町に移転。
2012年2月	大阪工場を富谷工場へ移転。富谷工場の一事業所として多賀城工場の操業を一部再開（多賀城事業所）。
2016年3月	地域中核企業活性化投資事業有限責任組合と資本業務提携。

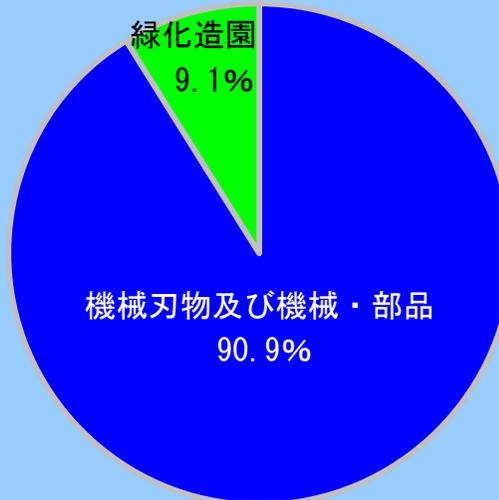
# 事業構成及び主要製品

国内機械刃物市場でトップクラスのシェア。

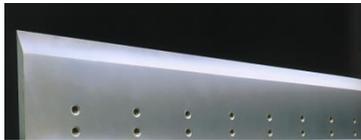
緑化造園



2016年3月期売上高  
4,910百万円



合板用刃物、製本用刃物、その他



ベニヤナイフ



チップーナイフ



ダイセット

製紙パルプ・食品用刃物



段ボールカッター



ミートスライサー

鉄鋼用刃物



シャープレード



コールドシャー



スクラップチョッパーナイフ



超硬サイドトリマーナイフ



メカニカルエキスパンドダイス

情報産業用刃物



スリッターナイフ  
(ゲベルタイプ)



サラバネ



スリッティングユニット



高精度移動式ホルダー



コーティングダイ

産業用機械及び部品



刃付平面研削盤



刃付丸刃研削盤



スライドウェイ

# 当社グループの概要

東洋鋼業（株）  
 （持分法適用関連会社）  
 ✓韓国市場向け製造・販売

上海東優刃物国際貿易有限公司  
 （連結子会社）  
 ✓中国市場向け販売

クアラルンプール支店、シブ事務所  
 ✓東南アジア・オセアニア地域市場向け販売

## （国内）

東洋刃物株式会社（本社：宮城県富谷町）  
 ✓国内・海外市場向け工業用機械刃物の製造・販売、  
 産業用機械・部品の製造・販売

生産拠点	主要生産品
富谷	情報産業用・鉄鋼用・製紙パルプ用各種刃物、産業用機械・部品、その他
多賀城	産業用機械・部品、合板用刃物、その他

営業拠点	販売エリア
仙台	東北・北関東（一部）
東京	東京・関東・甲信越・静岡（一部） ・北海道・海外（米国、欧州、その他）
名古屋	東海・北陸・近畿（一部）
大阪	近畿・四国・中国（一部）
広島	中国・九州・四国（一部）

連結子会社	事業内容
（株）トオハ	国内市場向け工業用機械刃物の製造・販売
熱研工業（株）	国内市場向け工業用機械刃物の製造・販売
東洋緑化（株）	緑化造園工事

**本件に関するお問合せは、  
管理部 IR担当（022-358-8911）までお願いいたします。**

本資料は証券投資に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。また、本資料には、計画、方針、経営戦略などといった、将来に関する記述があります。これらの記述は、当社が現在入手している情報に基づく予測、計画等を基礎として作成しているものであり、不確定要素を含んでいます。従って、様々な要因の変化により、実際にはこれらの記述と異なる結果となる可能性があります。

そのため、実際に投資を行う際は、本資料の情報に全面的に依拠して投資判断を下すことはお控えいただき、投資に関するご決定は皆様ご自身のご判断で行うようお願いいたします。また、投資に際して生じたいかなる損失に対し当社が責任を負うものではありません。